

過半数が「野菜不足を感じる」 高騰でキャベツ買い控え5割

チラシ・買い物情報サー

った。期間は2025年1

ビス「トクバイ」を運営す

る、くふうカンパニー（稲

田誉輝社長、東京都港区

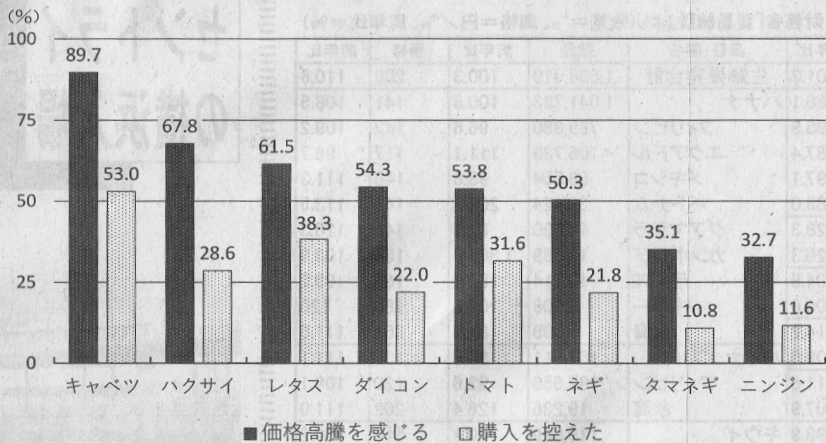
は、全国の「トクバイ」ユ

ザー5250人を対象

についてアンケート調査を行

など、多くの生活者が影響を受けている様子が明らか

「価格高騰を感じる」「購入を控えた」野菜



※農林水産省「食品価格動向調査(野菜)」調査対象8品目についてアンケート

になった。

野菜の価格高騰への対応

策については、「特売日や

値引き品を狙う」(61・7

%)の割合が最も多く、次

いで「別の安い野菜を選

ぶ」(55・4%)、「安く購

入できる店を探す」(54・

8%)が3割台で続いた。

以下、「価格が安定してい

るカット野菜を活用する」

(37・1%)、「野菜を使う

量を減らす」(33・1%)、

「無駄にしない」(32・7

%)が3割台となった。

具体的にどの野菜の価格

高騰が気になるかを尋ねた

ところ、1位は「キャベツ」

(89・7%)となり、約9割

が価格高騰を感じているこ

とがわかった。以下「ハク

サイ」(67・8%)、「レタス」

(61・5%)、「ダイコン」

(54・3%)、「トマト」(53・

8%)、「ネギ」(50・3%)な

どが続く。「キャベツ」は、

購入を控えた割合も5割を

超えている(上グラフ)。

一方、約7割が価格高騰

を感じている「ハクサイ」

は、キャベツに比べて購入

を控えた人の割合が少な

かった。「ダイコン」「ネギ

についても同様の傾向がみ

られた。鍋料理に欠かせな

い食材は、価格高騰を感じ

つつも購入している人が多

い、と同社はみている。

また、週末に自宅で「鍋

料理をする」と回答した2

223人に、野菜の価格高

騰による材料の変更がある

かを尋ねたところ、「高価

な野菜を避けて価格の安定

した野菜を使用」の割合が

最も高く56・0%だった。

次いで「高価な野菜をあま

り使わない種類の鍋にす

る」(41・4%)、「野菜を

減らして安価な食材でかさ

増し」(41・2%)が続い

た。「とくに変更なし」は

15・3%にとどまった。

なお、野菜の価格の高騰

時に頼る食材については、

「モヤシ」(79・4%)、「豆

腐」(60・6%)がトップ

2となり、以下「冷凍野

菜」「厚揚げ」「鶏ムネ肉

」「コンニャク」が3割台で

続いた。比較的価格が安定

しているポリュームを出せ

る食材を利用し、工夫して

いる様子がうかがえる。